



2025年
2月号



江津市図書館 ホームページはこちらから！

「雑誌の付録等もらっちゃおう！ 抽選会」のおしらせ

今年度当館で購入した雑誌付録を抽選方式でご提供いたします。今回は全部で15種のセットをご用意しました。下記内容をよくご覧になり、どしどしご応募ください。

注意 ご応募いただけるのは、当館利用登録者のみです。

●応募方法●

- ①カウンターで抽選券をもらってください。
- ②館内掲示のポスターをご覧ください、ほしい賞品の番号を抽選券に記入して、応募箱へ入れてください。
- ③抽選券の控えが当選賞品の引換券となります。紛失されないよう、4月初旬（再抽選日）まで保管をお願いいたします。
- ④3月5日(水)より、館内掲示・当館ホームページ・SNSにて当選番号を発表いたします。当選された方は、抽選券の控えをカウンターでご提示いただき、賞品をお受け取りください。3月30日(日)までに受け取りに来られなかった賞品は、4月初旬に再抽選を行います。

※お一人で3つまで応募することができますが、当選は一つまでとさせていただきます。

※同じ賞品番号に複数ご応募された場合は、抽選時に1枚分の応募券に絞らせていただきます。

応募期間：2月1日(土)～2月27日(木)

新年度購入雑誌の 変更について

新年度となる2025年4月購入分の雑誌より、以下のタイトルを追加・変更いたします。

いずれの雑誌も本館・分館相互に取り寄せて借りることができます。

本館購入分

・新規購入

『山陰経済ウィークリー』(週刊)

『将棋世界』(月刊)

『COTTON TIME(コットンタイム)』(隔月刊)

・購入中止

『田舎暮らしの本』(月刊)

『SCREEN(スクリーン)』(月刊)

『dancyu(ダンチュウ)』(季刊)

『美術手帖』(季刊)

『NHK すてきにハンドメイド』(月刊)

分館購入分

・購入中止

『世界』(月刊)

購入館変更

『LDK』(月刊) →本館購入から分館購入へ

「うちとしょ」新規申し込み受付中

「おうちでとしょかん」(うちとしょ)とは、月に一度、図書館員がご家庭や職場まで公用車で数十冊の本を持って行き、その中から読みたいものを選んで借りていただくことができる移動図書館サービスです。

「図書館が遠い」「脚が痛くて歩きづらい」「家を空けられない」など、図書館の利用が困難な市内在住の人が対象です。お試し利用も可能ですので、ご希望の方は窓口かお電話にてお気軽にお問い合わせください。



2月の

休館日



■毎週火曜日

4・11・18・25日

■月末休館日

28日(金)



おや？
当館キャラクターの“カシテーニョ”が、職員たちの雑談に聞き耳を立てていますよ。今月はどんな話をしているんでしょう…？

C：風邪やらインフルやらいろいろ流行ってますね。皆さん本当にお疲れ様でした。（収録は1月初旬。職員3名が年末年始の休館中に発熱で寝込む）熱でしんどい時って食べなきゃいけないけど食べにくいです。皆さん何食べてました？弱っているときの定番とかありますか？

B：今回は、納豆が食べたくなくて…

A・C・D：えっ、納豆っ！？

B：卵と混ぜてツルツルと。二回食べました。はっきりした味のものが食べたかったみたいです。

A：栄養補助食品のゼリータイプのやつしか口に入らなかったなあ。後半はうどんかお粥か。家族はうどん派なんだけど、私はお粥派が好きで。雑炊系かな。

C：わかるー！私もお粥派。お粥の中でも白がゆよりか、雑炊のほうが好きかな。

D：私はフルーツですね。果物なら食べられた。あまり料理をしない父がリンゴを剥いて持って来てくれて…。ありがたかったし、美味しかった。ペロっと食べちゃいました。

B：うちは苺を買ってきてくれた。

C：うー、普段なかなか手が出しづらい金額になってますけど、緊急事態ですしね。優しい～。

A：家族がプリンを買ってきてくれたんだけど、その時の気分はプリンじゃなくて、コーヒゼリーだったのよ。残念！

D：プリンの甘さがのどに引っかかったりする感じですか？

B：咳があるときは、ツルとしたゼリーに限る！

C：子どもの頃なら、食べ物じゃないけど、風邪をひいたときには“ヴェ〇ラップ”を塗ってもらうのが定番でしたね。鼻づまり？がなくなって気持ちよく眠れて、大好きでした。

B：懐かしー。私も塗ってもらってた！そういえば私は“肝油”食べてた。でも美味しくて、食べ過ぎないように、いつも注意されたりしていたよ。

A：あと“リンゴのすったもの”ね。

C：わかるー。小さな頃は“すりおろしたリンゴ”を要求したら作ってくれてたけど、だんだん大きくなるとスルーされるようになって…(涙)。

D：今ならこのわがまま許してもらえるかな？と思って、病院帰りにおばあちゃんにいっぱい甘えて、普段買ってもらえないおもちゃとかねだっていました。

B：今回思ったんだけど、同じ家族の中でも、病気がうつったり、うつらなったり。それって何の差？免疫力の差なんですか？

A：あるだろうねえ、そういうこと。何が違うんだろう？何か重要なものを持っているんだろうか？良質な腸内細菌とか？

B：うーん。普段は便秘もしないし私は良い腸内細菌持っている気がしているんですけど…。それじゃないのかなあ？

A：一説には免疫力って上がるもんじゃなくて、今持っているものが下がる一方だから、個人が持っている本来の免疫をいかに下げないようにするかってことが大事なんだって。だから個人差が出やすいみたい。

C：自分の持っている本来の力の時点で…差があるってことね。残念だ…。元々が低い気がしてならない…。

D：だったら、今ある免疫が落ちないように、良い睡眠と栄養をしっかり取らなきゃ。（ここでみんなでおやつタイム♪）そしてストレスフリーでいきましょう！

免疫のために「免疫ケ〇」ってドリンクを飲んでるんだけど、効いているのかどうか…？でもやめた途端に風邪とか引いたら嫌だから、止められないんだなあ、これが。



＼ 今月のおすすめ本 /

- 『お医者さんが薦める免疫力をあげるレシピ』(498)
- 『ちょっと具合のよくないときのごはん』(498)
- 『からだと病気のしくみ講義』(491)
- 『失われた体の力がよみがえる免疫力学』(492)
- 『ねつでやすんいるキミへ』(E)

1/25 ゲーム&かるた大会レポート



各種ゲームでの予選の様子。テーブルごとにぎやかな歓声が☆

開館 50 周年を記念して製作した「ごうつ(52)かるた」の完成披露を兼ね、当館所蔵のゲーム&かるた取りを楽しむ会を開催しました。12 組の参加者のみなさんと大いに盛り上がりました！



決勝戦のかるた大会。ギャラリーに見守られながら白熱した戦いが…！

優勝した姉弟コンビ！賞状&賞品のかるたを手に😊

絵札のイラストを担当いただいた、みはしたかさんの貴重なお話もお聞きできました。

みはしたかこの消しゴムはんこ教室

《特別編》はんけしワークショップレポート その②

10月に開催した、みはしたかさんの消しゴムはんこワークショップ、完成作品と感想のご紹介をいたします♪

みはしたかこ
江津市在住イラストレーター、はんけし(はんこ消しゴム)作家。

初めての人もそうじゃない人も、皆さん本気で頑張っていたのが印象的でした。消しゴムはんこの楽しさに目覚めて、これからたくさん彫って下さい。

職員作「カシテーニョ」

文化庁が公表した「二〇二三年度「国語に関する世論調査」(令和六年九月十八日付読売新聞)によると、一か月に本を一冊も読まない人が前回調査から大きく増えて六割を超えたと報道されました。また、読書量が以前より減った人も七割となり、同行の分析によると「読書離れ」が加速しているのではないかと推測されています。

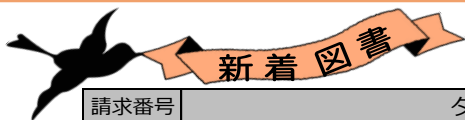
当館においても年々、(市の人口減もあると思われるが)登録者数減少、貸出数減少という実態があります。

文化の維持発展には読書が欠かせません。島根県では、溝口善兵衛前知事が県内の全小・中・高校 特別支援学校に司書配置を行い、読書の推進に取り組みしました。

当館も、色々と試行錯誤しながら図書館へ足を運んでももらえるように、今後とも努めていきますので、よろしくお願ひします。

《参考文献》『本棚』(ヒヨコ舎編)・『本には読む順番がある』(齊藤孝)・『小学生の考える力を伸ばす「国算社理」の1000冊』(白井文子他三名)『最強の速読術』(齊藤英治)

雑記帳
本を読まない人「六割」



※前月20日頃までの新着図書の一部です。

請求番号	タイトル	著者
007.3	2045 不都合な未来予測48	友村晋
09	満州挽歌 悲劇の島根開拓団	八田宏
141.6	もう会えない人を思う夜に 大切な人と死別したあなた	坂口幸弘 赤田ちづる
210.2	変わる縄文 遺跡発掘作業員のわたしが追いかけた一万年	今井しょうこ
281	日本史の偉人の虚像を暴く	本郷和人
302.3	西洋の敗北 日本と世界に何が起きるのか	エマニュエル・トッド 大野舞：訳
368.6	「だれにも言っちゃだめだよ」に従ってしまう子どもたち	櫻井鼓
411.1	線と四角と表でわかるつるかめ算	横山明日希；滝澤幹；沼倫加
494.9	透析を止めた日	堀川恵子
594	コカドとミシン	コカドケンタロウ
599	イヤイヤ期のトリセツ	ふじこせんせい
627.8	観葉植物を枯らさないための本	ヴェロニカ・ピアレス 深町貴子：監修
673.3	転売ヤー闇の経済学	奥窪優木
721.9	大江戸花形絵師競 おもしろすぎる！浮世絵案内	堀口茉純
816	「好き」を言語化する技術	三宅香帆
911	すごい短歌部	木下龍也
913.6	憧れ写楽	谷津矢車
913.6	暗号の子	宮内悠介
914	傘のさし方がわからない	岸田奈美
916	傷の声 絡まった糸をほどこうとした人の物語	齋藤塔子
E	あのこはね	福田利之
E	しごとってなんだろう	細川貂々
E	ライオンのくにのネズミ	さかとくみ雪
E	スージーとゆめがかなうとしょかん	スージー・モーゲンスターン：ぶん セヴリーヌ・コルディエ：え しろつぶじゅんべい
K281	おかげさま図鑑 すごい人もひとりじゃなんにもできなかった！	須藤公博：監修
K369	あなたが学校でしあわせに生きるために	平尾潔
K452	水の一生図鑑 ぐるぐるめぐる水のサイクルを知って地球環境を学ぶ	林良博：監修 片神貴子：訳
K830	英語でDORAEMON3	藤子・F・不二雄：原作 カン・アンドリュウ・ハシモト：英文解説
K913	カミオカンデの神さま	松田悠八
913.6	【大活字】宗旦狐 茶湯にかかわる十二の短編	澤田ふじ子

誰にも言えず、一人で抱えてしまっている悲しみ。きっとよりそってくれるはず。

終末医療について、深く考えさせられる一冊。本人、家族の思いと、医療とのズレ。安らかな死とは。

短歌を募集
→採用歌を詳しく解説
→作者の思考を余すところなく公表
あなたも作ってみませんか？

いろんな気持ちを体験しながら、一步步大人になっていく。
絵も素敵！

ノーベル賞の受賞に貢献した観測装置「カミオカンデ」が置いてある町にすむ姉妹の成長の物語。

■ 江津市図書館 ■

【本館】〒695-0011 島根県江津市江津町 995 ■ TEL (0855) 52-0551
FAX (0855) 52-0552

【桜江分館】〒699-4226 島根県江津市桜江町川戸 11-1 ■ TEL/FAX (0855) 92-0300
開館日：水曜日～月曜日 休館日：火曜日・毎月末日・特別整理休館日・年末年始
開館時間：(通常業務) 午前10時～午後6時